

2021年度 国体柔道競技 少年の部 最終選考会

1. 主催 (一社)愛知県柔道連盟
2. 日時 令和3年6月26日(土)
3. 会場 愛知県武道館 第3競技場
4. 大会役員
 - (1) 会長 河原 月夫
 - (2) 副会長 平野 等 加藤 博 河合 孝
 - (3) 競技
 - ① 強化部長 松本 宣子
 - ② 強化委員長 石田 輝也
 - ③ 強化副委員長 田嶋 之貴
 - ④ 強化委員 藤山 茂 芳森 信吾 伊東 朝樹 高濱 克有
三宅 恵介 山本 典実 後藤 邦仁 大瀧 徹士
 - ⑤ 審判長 上野 義行
 - ⑥ 審判員(順不同)

石田 雅明	近藤 進太郎	木村 明夫	斉野 謙二	前 保幸
浅野 光秀	森田 泰行	笹瀬 貴司	長谷川 真樹	後藤 邦仁
山下 義剛	平岩 亜扇	大瀧 徹士	松下 泰夫	野田 大介
竹市 慈俊	山下 幸司	山下 成己		
5. 入場制限
 - (1) 新型コロナウイルス(COVID-19)感染症対策のため、**試合場に入場できるのは、選手、引率者(※2名まで)、審判員、大会役員、補助員のみとする。**選手以外の入場者は、受付時にIDカードを受け取り、会場内ではIDカードが見えるように携帯すること。試合に出場しない者や保護者等は入場することはできない。また、**打ち込み相手の入場については、「8.進行」を参照のこと。**

※ 派遣審判員は引率者扱いとはしないため、派遣審判員以外に各学校2名まで入場可とする。
 - (2) 大会当日、37.5℃以上ある者は会場へ入場できない。発熱が無い者でも、倦怠感、息苦しさ、咳、咽頭痛等の自覚症状のある者は会場へ入場できない。
 - (3) 試合場に入場する者は、大会前2週間分の体調管理チェックシートを提出すること。チェックシートが提出できない者は入場不可とする。
6. 試合方法
 - (1) 最新の国際柔道連盟試合審判規定で行う。

- (2) 試合時間はすべて 4 分間とする。
- (3) 技によるスコアの差が無い場合、指導差が2の時は指導の少ない方が僅差勝ちとなる。また、指導差が 1 以下の時は時間無制限のゴールデンスコア方式で勝敗を決する。ゴールデンスコアでは、先に技によるスコアを得た方が勝者となる。あるいは、新たに双方もしくは片方に指導が与えられた時点で指導差が生じている場合、指導の少ない方が勝者となる。
- (4) 試合はトーナメント戦で行い、3位決定戦は実施しない。
- (5) 呼び出しても選手が現れない場合、場内放送をかけて 30 秒を過ぎても試合場に現れない場合は「棄権」とする。
- (6) 監督、コーチは試合が止まっている間(「待て」から「始め」の間)のみ、選手に指示を与えることができる。試合続行中は指示を与えることはできない。

7. 柔道衣コントロール

- (1) 全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣、下穿、帯)を着用すること。
 - ① 上衣・下穿
 - (ア) 外枠が赤色の IJF ラベルがついているもの
 - (イ) 赤色の IJF ラベルが ついていない場合
「JU0000」と赤字で表示された全柔連認証番号ラベルがついているもの
 - ② 帯
 - (ア) IJF ラベルがついているもの外枠の色は赤・青どちらでも可
 - (イ) IJF ラベルがついていない場合
「JU0000」と表示された全柔連認証番号ラベルがついているもの 赤・黒どちらでも可
- (2) 柔道衣は白色のみを使用し、背部に規定のサイズのゼッケンが縫い付けてあること。

8. 進行

- (1) 審判員受付 8:40～
 - ※ 受付でチェックシート提出後、ID カードを受け取る。
 - ※ 会場設営および計量の準備を行う。
- (2) 選手入場開始 9:00～
- (3) 受付 9:00～9:30(2階柔道場入口にて参加費を納入すること)
 - ※ 引率者は ID カードを受け取ること。
- (4) 計量 9:10～9:40 各試合会場にて実施する。
 - ※ 規定の体重の+1kg まで可とする。
 - ※ 計量時に各自で体調管理チェックシートを提出すること。時間内に提出できない場合は失格となる。
 - ※ 無差別の選手は、計量は行わないが、チェックシートの提出および出欠の確認を上記の時間帯に行う。

(5) ウォームアップ

(ア) 計量が終わった選手からアップを始めてよい。

(イ) 下記のチームは、所属校から1名しか選手が出場しないため、1名の打ち込み相手の入場を認める。打ち込み相手も、選手が計量する際に一緒に体調管理チェックシートを提出すること。提出できない場合は会場外へ退出すること。

該当チーム…栄徳、名古屋大谷、名古屋工業、三好、愛産大三河

(6) 開会式および全体での審判会議は実施しない。

※ 各所属で、今大会の確認事項について周知徹底しておくこと。

※ 9:40 に会場チーフの打ち合わせを本部付近で実施する。その後、9:50 に各会場での審判打ち合わせを行う。

(7) 試合開始 10:00～

(8) 試合場 各階級の試合会場は以下の通りとする。

	第1 試合場	第2 試合場	第3 試合場
2階	男子60kg級 男子100kg級	男子73kg級 男子無差別1～4	男子90kg級 男子無差別5～8

(ア) 各試合会場にて、準決勝まで実施する。(試合順は組み合わせ表に記載)

(イ) 決勝戦は第2 試合場のみで実施する。

(ウ) 準々決勝までに敗退した選手は、すみやかに着替えて会場外へ退出すること。準決勝以上に進出した選手は表彰式があるため、敗退後も会場内で待機すること。

9. 感染症対策

(1) 選手(打ち込み相手も含む)および引率者は、感染者および濃厚接触者でないこと。また、所属内で新型コロナウイルス感染者および濃厚接触者が判明した場合は、保健所等の指示に従うこと。

(1) 会場出入口は一方通行とするため、逆行したり、出入口付近で密集することが無いようにすること。

(2) 選手は、試合時以外は必ずマスクを着用すること。引率者および審判員もマスクを着用すること。

(3) 試合時にマスクを外す時は、自分のマスクを袋やケースに入れて、試合場に設置してあるマスク置き場に置くこと。

(4) 試合の前後には、試合場に設置してある消毒液で手指消毒を必ず行うこと。

(5) 試合場(畳)に上がる際には、試合場に設置してある足裏消毒用マットで足裏を消毒すること。

(6) 審判員や補助員も畳に上がる際には同様に消毒用マットで足裏消毒を行うこと。その際、靴下のまま消毒を行ってよい。(消毒液は速乾性ですぐに乾く)

(7) 試合待機時は観覧席にて他者と十分距離を取り、密集せずに待機すること。また、声を出しての応援は慎むこと。

(8) 畳の消毒は、1回戦開始前に行う。

(9) 試合で敗退した選手は、すみやかに着替えて会場外に出ること。ただし、準決勝以上に進出した選手は表彰式があるため、敗退しても会場内で待機すること。

10. 会場内動線

- (1) 選手は直接、各試合場に入場すること。
- (2) 観覧席で更衣し、荷物を観覧席の待機場所に置いておくこと。
- (3) 試合時には、呼び出しがあるまでは観覧席で待機すること。呼び出された選手は標識帯を受け取り、板の間で待機すること。
- (4) 試合場(畳)へ上がる際には、右図のように移動すること。

